

# ●●● 幸せで穏やかな生き方を、ガード下の空間に 求めて●●●

## ●提案の主旨

・現在の日本にとって重要な課題でありながら、それを乗り越えることが、諸般の事情により、困難になっている現象が身近に多く見られる。  
問題の原点は、施設を都心で建設させるための敷地の確保が困難であることである。

そして、近隣との軋轢、騒音問題、環境問題、そして、迷惑施設ができる土地の価格が下がるというような理由であろうと、推測している。

・精神、知的障がい者施設・身体障がい者施設・高齢者施設・児童養護施設・犯罪経験者の矯正施設などハンデーを持っている人たちのための施設を、交通の便が良い都心にも、規模が小さくても良いから、数多く作る必要があると考えた。ただし宿泊は機能的な面で不可能ゆえ、残念ながら業務は日中に限定せざるを得ないが。

また、ガード下故、空間が連続しているために、施設相互の交流が可能であるとも考えた。

高齢者と児童・障害者と健常者・犯罪経験者と一般の人・学生・看護学校の生徒などとのコミュニケーションを期待する。

自分は一人では無いと、ハンディーがある人にも、自分の体で理解してもらえる空間を提案したいと、考えている。

・ガード下の空間であれば、一般の敷地に計画することより、逆に問題を解決させることが可能は面も多々あるはずとも考えているので。

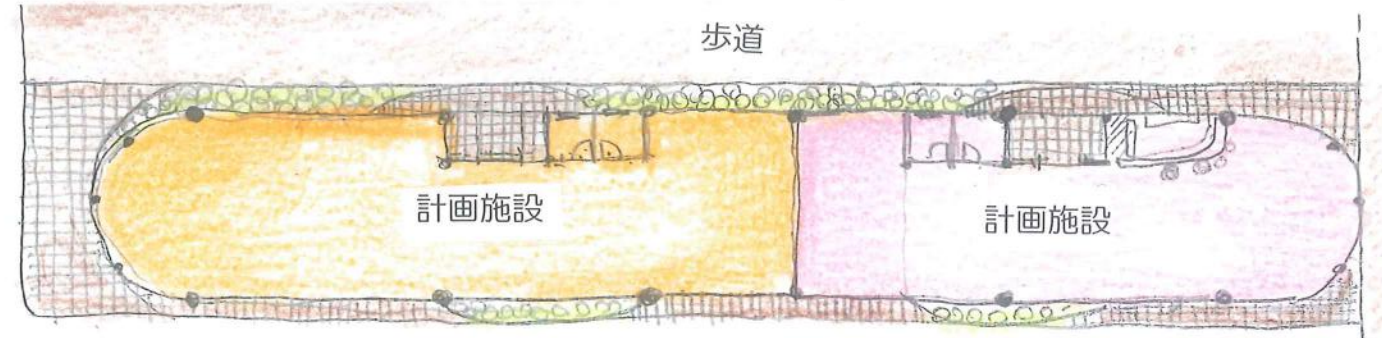
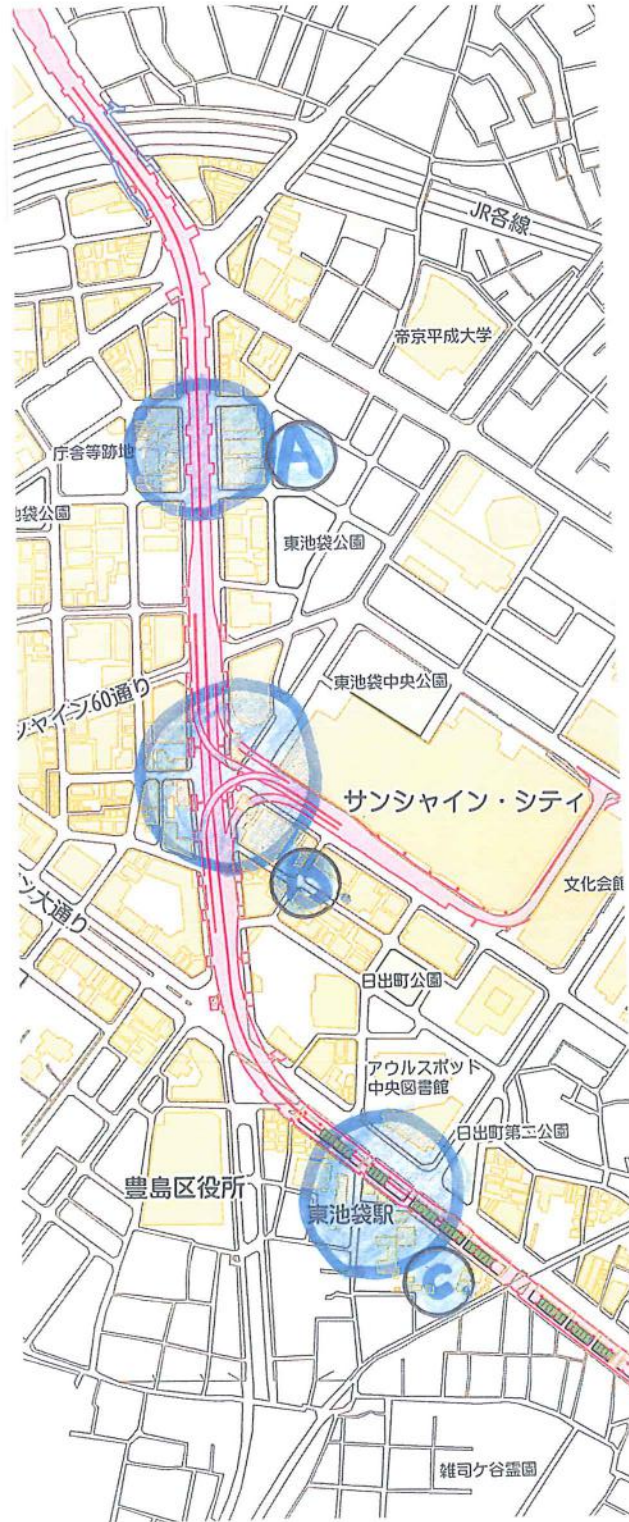
困難は、当然多様にあるとは思うが。

・ガード下の建築は、建築的には制約が多くあり、自由な発想が出来にくい  
逆に、都心で交通の良い敷地が安価に確保でき、騒音や環境をあまり意識しなくても良く、将来道路に沿って施設の延長が可能である、など利点もある。  
特に、交通の便が良いのが利点である。

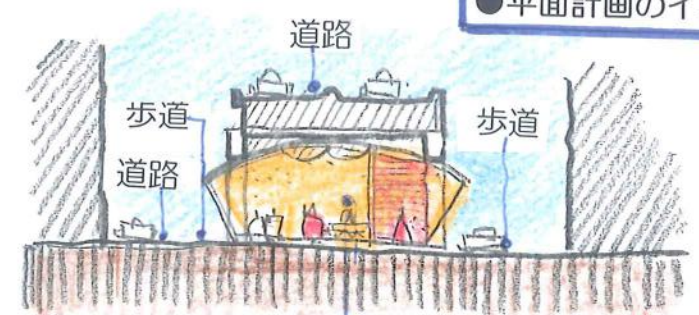
・運営は、公共と民間の乗り入れとし、運営資金は、企業の寄付をある程度期待し、運営者は、ボランティアをメインにしたい。

そして、他の施設のとの交流も期待している。

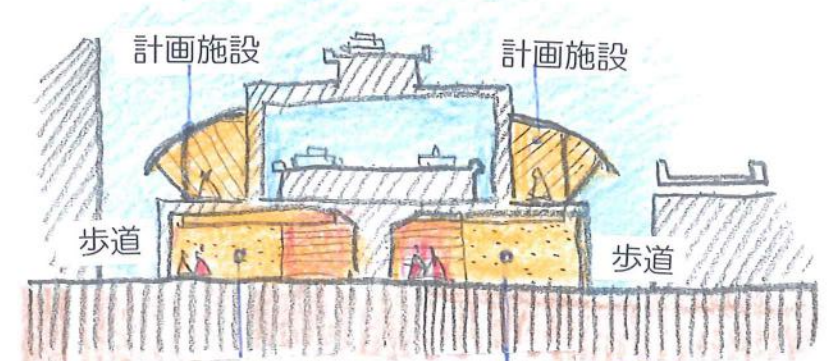
上記の提案に従った、施設計画を提案したい。



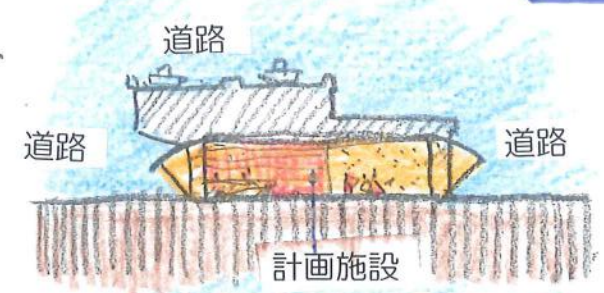
●平面計画のイメージスケッチ



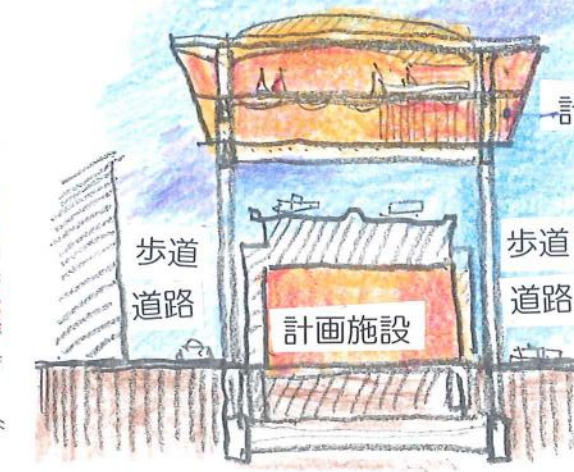
A部分断面スケッチ



B部分断面スケッチ



C部分断面スケッチ



●道路施設の上部に計画施設を増築する案

ただし、現状の法規制と、構造的な対応が難しく、実施は現状では不可能と判断する。